

D-Link DPE-SP110
Outdoor Surge Protector

ユーザマニュアル



安全にお使いいただくために

はじめに

本製品の設置は地域の建築基準、安全規則に精通した専門家に依頼してください。専門業者を介さず取り付けられた場合、弊社の製品保証が無効になり、エンドユーザまたはサービスプロバイダが法的および金銭的責任を負う可能性があります。

製品及びアースの誤った設置による怪我、損傷、法律違反に関して D-link 及び、製品の販売業者、ディストリビューターはいかなる責任も負いません。

屋外設置において落雷や静電気からネットワークシステムを保護する為に、安全な接地を行う必要があります。屋外用イーサネットサージプロテクタデバイス（SPD）を直接接地することは非常に重要であり、過酷な屋外環境や ESD（静電気放電）による破壊からネットワークを保護することができます。

アースシステムは日本国内及びお住まいの地域の安全基準を満たしている必要があります。アースが適切に設置されているかどうか不明な場合は、資格を持つ電気技術者に確認してください。

電波障害自主規制について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用上の注意

- ・ 本製品の設置及びご利用に際しては以下の安全に関する内容を必ずお読みいただき、同意する必要があります。
 - サージプロテクタは「現状のまま」提供され、商品性又は特定の用途への適合性の保証を含むあらゆる保証も行いません。
 - サージプロテクタの性能を最大限に引き出すために、適切にアースの接地を行ってください。
 - サージプロテクタは落雷を直接防ぐものではありません。落雷による電圧は時に数百万ボルトにまで達しますが、高性能のサージプロテクタであっても常に完全に保護する事は出来ません。
 - サージプロテクタの寿命は、サージを受け取る回数や各サージのエネルギー量に依存します。外観からその状態を識別することは出来ません。性能を維持するには 2 年に 1 度の定期交換を強くお勧めします。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。

必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。

また、必ず本書、および弊社 WEB に掲載された製品保証規程をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、記載事項に従ってご使用ください。

製品保証規定は以下を参照ください。

<https://www.dlink-jp.com/support/product-assurance-provision>

- 本書の記載内容に逸脱した使用の結果発生した、いかなる障害や損害において、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 弊社製品の日本国外でご使用の際のトラブルはサポート対象外になります。

なお、本製品の最新情報やファームウェアなどを弊社ホームページにてご提供させていただく場合がありますので、ご使用前にご確認ください。

製品保証、保守サービス、テクニカルサポートご利用について、詳しくは弊社ホームページのサポート情報をご確認ください。

<https://www.dlink-jp.com/support>

目次

安全にお使いいただくために.....	2
はじめに.....	2
ご使用上の注意.....	2
はじめに.....	5
本マニュアルの対象者.....	6
表記規則について.....	6
第1章 本製品のご利用にあたって.....	7
DPE-SP110について.....	7
サポートする機能.....	7
外観について.....	8
搭載ポート.....	8
第2章 機器の設置.....	9
パッケージの内容.....	9
サージプロテクタの接地.....	9
接地に必要なツールと機器.....	9
ケーブルコネクタの保護.....	10
ネットワークへの接続.....	11
壁面への取り付け.....	12
第3章 保証とテクニカルサポート.....	14
製品に関するお問い合わせについて.....	14
お問い合わせに必要な情報.....	14
個人情報のお取り扱い.....	14
日本国外での使用について.....	15
廃棄方法について.....	15
商標について.....	15
ご注意.....	15

はじめに

DPE-SP110 ユーザマニュアルは、本製品の設置方法を記述しています。

- 第1章 [本製品のご利用にあたって](#)
 - 製品の概要とその機能について説明します。また、入出力ポートについて説明します。
- 第2章 [機器の設置](#)
 - DPE-SP110 の設置方法について説明します。
- 第3章 [保証とテクニカルサポート](#)
 - DPE-SP110 の保証とテクニカルサポートについて説明します。

本マニュアルの対象者

本マニュアルは、本製品の設置および管理についての情報を記載しています。また、ネットワーク管理の概念や用語に十分な知識を持っているネットワーク管理者を対象としています。

表記規則について

本項では、本マニュアル中での表記方法について説明します。

注意 注意では、使用にあたっての注意事項について説明します。

警告 警告では、ネットワークの接続状態やセキュリティなどに悪影響を及ぼす恐れのある事項について説明します。

補足 補足では、特長や技術についての詳細情報について説明します。

参照 参照では、別項目での説明へ誘導します。

表 1 に、本マニュアル中での字体、記号についての表記規則を表します。

表 1 字体・記号の表記規則

字体・記号	解説	例
「」	メニュータイトル、ページ名、ボタン名。	「Submit」ボタンをクリックして設定を確定してください。
青字	参照先。	" ご使用になる前に "（13 ページ）をご参照ください。

第 1 章 本製品のご利用にあたって

- [DPE-SP110 について](#)
- [サポートする機能](#)
- [外観について](#)

DPE-SP110 について

DPE-SP110 は突然の落雷や静電気によるネットワーク機器への損傷を軽減するためのアウトドアサージプロテクタです。予期せぬサージ電流が発生した場合、余分な電力を遮断または迂回させて、ネットワーク機器が正常に動作するのに必要な電力量を保ちます。耐水（IP66）設計、PoE/PoE+ パススルー、最大 1000 Mbps の高速通信により外部電源などの追加機器なしで屋外環境への設置が出来ます。DPE-SP110 は従来のガス放電管（GDT）とシリコンアバランシェダイオード（SAD）を使用した雷保護装置よりも高い信頼性と安定性でネットワーク機器を落雷のダメージから守ります。

サポートする機能

- ・ 最大放電電流 10 kA
- ・ IP66 適合の防塵防水設計
- ・ PoE / パススルーに対応（IEEE 802.3af/at）
- ・ 10/100/1000 Mbps 対応
- ・ IEC 61643-21 規格に準拠
- ・ RJ45 ケーブルの 4 ペアを全て保護
- ・ RoHS 指令対応

外観について

搭載ポート

以下のポートを搭載しています。

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート（データ入力 /PoE パススルー） x 1
- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート（データ出力 /PoE パススルー） x 1

DPE-SP110 前面

本体の前面には入力ポートを搭載しています。

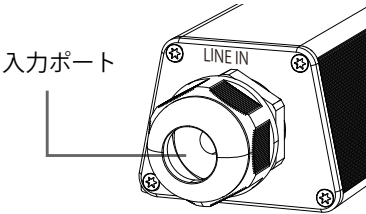


図 1-1 DPE-SP110 の前面

ポート	説明
LINE IN ポート	屋内のネットワークへ接続します。PoE スイッチなどの PoE 給電デバイスを接続した場合、最大 35W までの電力を受信します。

DPE-SP110 背面

本体の背面には出力ポートを搭載しています。

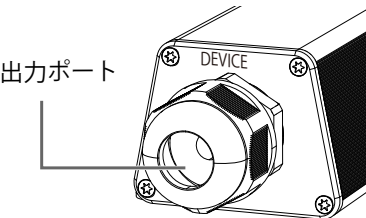


図 1-2 DPE-SP110 の背面

ポート	説明
DEVICE ポート	アクセスポイントや IP カメラなど、保護対象となる外部ネットワーク機器を接続します。接続機器が PoE 受電に対応している場合、最大 35 W までの電力を転送します。

第2章 機器の設置

- パッケージの内容
- サージプロテクタの接地
- ケーブルコネクタの保護
- ネットワークへの接続
- 壁面への取り付け

パッケージの内容

ご購入いただいたスイッチの梱包箱を開け、同梱物を注意して取り出してください。以下のものが同梱されています。

- ・ 本体
- ・ アースケーブル
- ・ O リング
- ・ マウントキット
- ・ クイックインストールガイド
- ・ PL シート

万一、不足しているものや損傷を受けているものがありましたら、ご購入頂いた販売代理店までご連絡ください。

サージプロテクタの接地

DPE-SP110 を接地する方法について説明します。

注意 本製品をネットワークに接続する前に、本手順を完了する必要があります。

接地に必要なツールと機器

- ・ 接地ネジ × 1 個（本製品に取り付け済みです。）
- ・ アースケーブル
- ・ O リング
- ・ スクリュードライバ（本製品には含まれていません。）

以下の手順でサージプロテクタを接地します。

1. 本体背面の接地ネジを外し、同梱の O リングを接地ネジ穴に配置します。

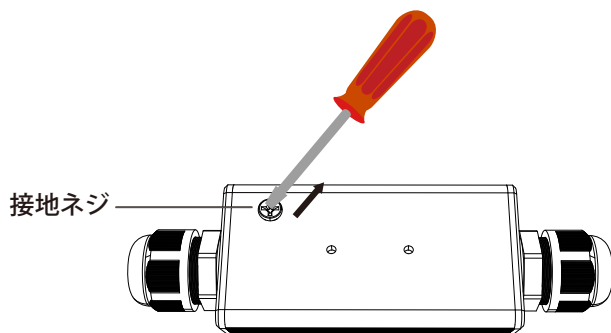


図 2-1 接地ネジの取り外し

2. 次に、アースケーブルの一方の端を接地リングの上に置き、アースケーブルとリングの両方を接地ネジ穴の位置に合わせます。

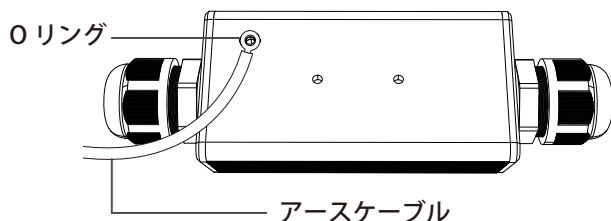


図 2-2 O リングとアースケーブルの配置

3. 接地ネジをしめて、サージプロテクタに接地ケーブルとリングを固定します。

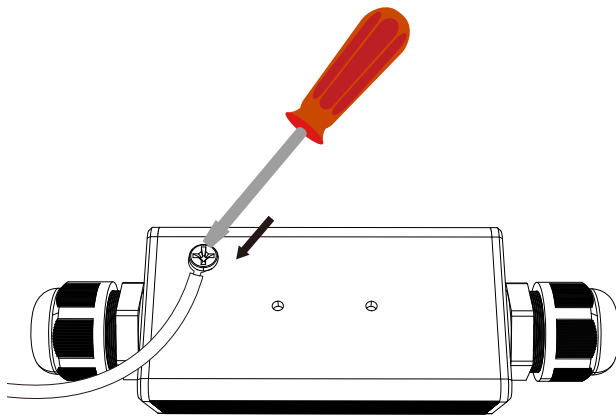


図 2-3 アースケーブルとリングの固定

4. アースケーブルの反対側を接地します。

ケーブルコネクタの保護

注意 サージプロテクタから保護デバイスやネットワーク機器に接続されているケーブルは、100 cmを超えないようにしてください。

サージプロテクタとネットワーク機器の接続には、密閉保護されている屋外環境使用に対応したイーサネットケーブルを使用してください。

ケーブル保護カバーの取り外し

イーサネットケーブルの両端が保護カバーで覆われている場合は、サージプロテクタ付属の保護圧縮キャップが適切に密閉されない可能性がありますので、カバーを取り外してください。

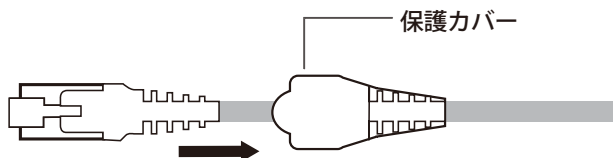


図 2-4 ケーブル保護カバーの取り外し

防水テープによる保護

イーサネットケーブルの種類によりケーブル幅が異なるため、防水性を向上させるために、ケーブルの両端を防水テープで包むことをお勧めします。以下の図を参照してください。

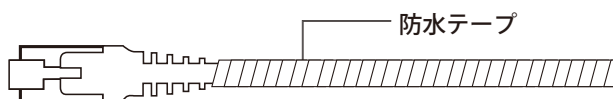


図 2-5 防水テープによる保護

イーサネットケーブルの保護

以下の手順により、イーサネットケーブルを保護します。これは、サージプロテクタに接続されている両方のケーブルに対して実施する必要があります。

1. サージプロテクタ本体から、シーリングナット、圧縮ワッシャー、および圧縮リングで構成される保護シーリングキャップを取り外します。
2. イーサネットケーブルにシーリングナットを通します。
3. イーサネットケーブルに圧縮ワッシャーを通します。ケーブルは圧縮ワッシャーの切れ込みからはめることができます。
4. イーサネットケーブルに圧縮リングを通し、圧縮ワッシャーを挟んでシーリングナットで締めます。

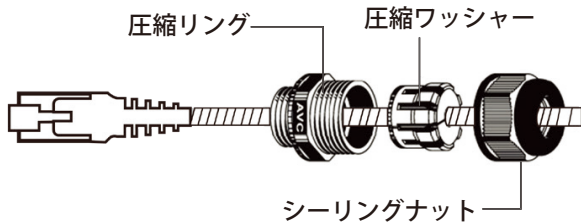


図 2-6 圧縮リング、圧縮ワッシャー、シーリングナット

5. イーサネットケーブルをサージプロテクタの RJ45 コネクタに接続します。

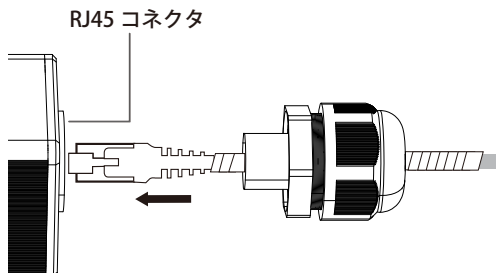


図 2-7 RJ45 コネクタへの接続

6. ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認します。最後に、圧縮リングを本体に取り付けて、防水のために外側のキャップを強く締めめます。

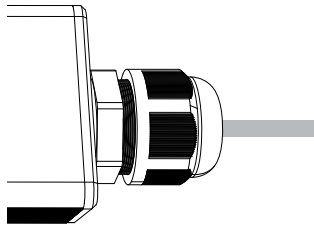


図 2-8 本体への取り付け

ネットワークへの接続

機器を適切に接地し、コネクタを密閉した後、本製品をネットワーク及び保護デバイスに接続することができます。接続手順は以下の通りです。

1. サージプロテクタの「LINE IN」ポートに接続されているケーブルのもう一方の端を、屋内ネットワークに接続します。
2. サージプロテクタの「DEVICE」ポートに接続されているケーブルのもう一方の端を、IP カメラなどの保護対象の屋外デバイスに接続します。

壁面への取り付け

DPE-SP110 は、付属の壁掛けキットを使用して壁に取り付けることができます。本製品を壁に取り付ける方法については、以下の手順を参照してください。

警告 設置する壁面の強度につきましては十分確認した上で作業を行ってください。

注意 本製品を壁に設置する際の問題を回避するため、この手順を進める前に、接地とネットワークへの接続を行うことを強くお勧めします。

1. サージプロテクタを取り付ける場所に、同梱のマウントプレートを合わせ、ネジを取り付ける 4 箇所にマークを付けます。

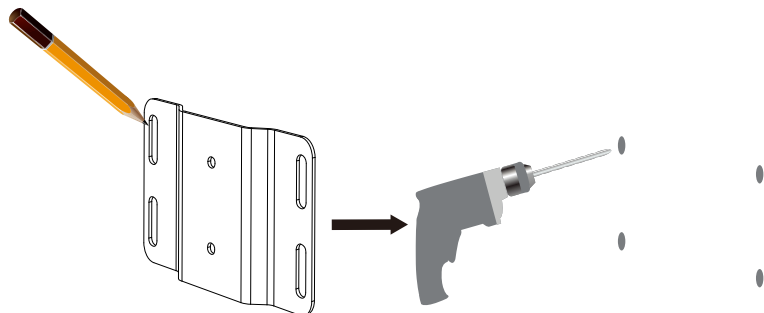


図 2-9 ネジ穴位置のマーク

2. マークした 4 カ所に穴をあけ、開口部に同梱のナイロンアンカーを挿入します。

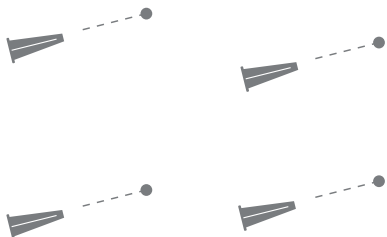


図 2-10 アンカーの挿入

3. 底面が上を向くように本体を裏返します。

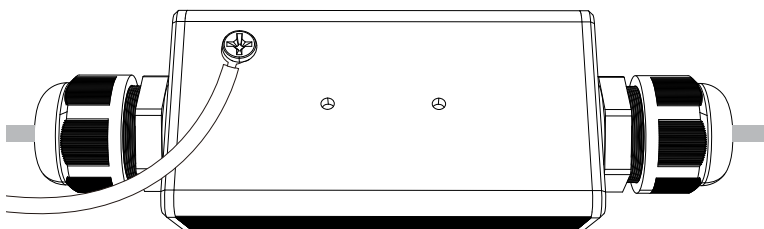


図 2-11 本体底面

4. 底面にマウントプレートを置き、本体のネジ穴とマウントプレートのネジ穴の位置を合わせます。

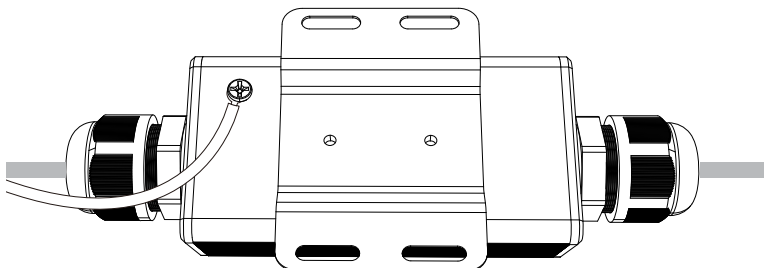


図 2-12 マウントプレートの位置合わせ

5. 同梱のマウントプレート用ネジ2つを使用し、本体の底面にマウントプレートを取り付けます。

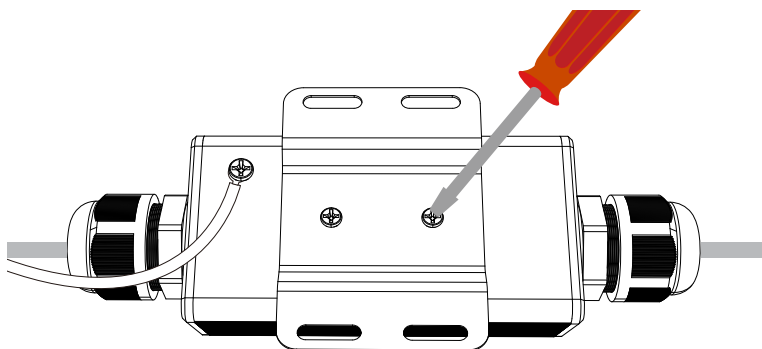


図 2-13 マウントプレートの取り付け

6. 同梱のネジを使用して、本体を壁面のアンカーに固定します。

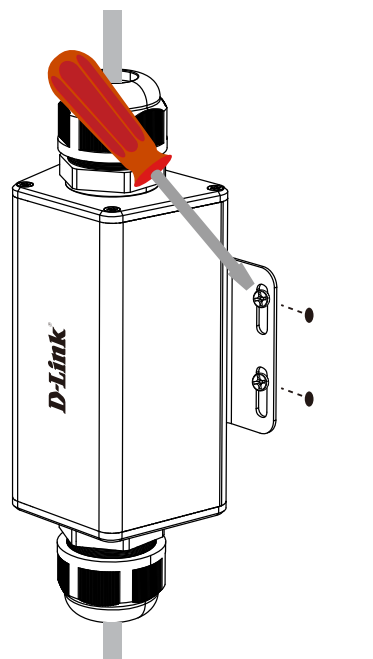


図 2-14 壁面への取り付け

第3章 保証とテクニカルサポート

- 製品に関するお問い合わせについて
- お問い合わせに必要な情報
- 個人情報のお取り扱い
- 日本国外での使用について
- 廃棄方法について
- 商標について
- ご注意

製品に関するお問い合わせについて

下記事項をご確認のうえ、ご購入頂いた販売代理店へお問い合わせください。

1. ユーザマニュアルを再度ご確認ください。
 2. 弊社ホームページにてサポート情報をご確認ください。
 3. ダウンロードサービスをご利用ください。
 - ・最新情報は弊社ホームページにてご確認ください。
- <https://www.dlink-jp.com/>

注意

並行輸入品や海外で購入した製品はサポート対象外です。また、ディーリンクジャパンが販売した製品（販売代理店経由で購入した製品）でも、日本国外で使用している場合は、サポート対象外となります。

お問い合わせに必要な情報

迅速な問題解決のために、あらかじめ以下の情報をご用意の上、ご購入頂いた販売代理店へお問い合わせください。

- ・製品名
- ・お買い上げ年月日
- ・シリアル番号（本体または箱に貼付）
- ・ファームウェアバージョンまたはソフトウェアバージョン
（ファームウェア、ソフトウェアがある製品）
- ・ご使用環境（OS、周辺機器など）
- ・エラーメッセージが表示されている場合は、その内容をお知らせください。

個人情報のお取り扱い

ディーリンクジャパン株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応、修理、その確認または製品の最新情報を通知するために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

日本国外での使用について

本製品は日本国内専用です。国外では使用できません。また、本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

なお、テクニカルサポートはディーリンクジャパンが販売した製品（販売代理店経由で購入した製品）を、日本国内で使用している場合のみしか受けられません。

廃棄方法について

本製品、外箱および緩衝材を廃棄する場合は、各自治体の指示にしたがってください。

商標について

「D-Link」は D-LINK CORPORATION および D-Link System Inc. の登録商標です。

Microsoft および Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

ご注意

本書はディーリンクジャパンが作成したものであり、すべての権利を所有しています。

弊社は無断で本書をコピーすることを禁じます。弊社は予告なく本書を修正、変更することがあります。

弊社は改良のため、製品仕様を予告なく変更することがあります。

Copyright 2010 - 2019 ディーリンクジャパン株式会社